

一人ひとりの 輝きを大切に



社会福祉法人
ライフサポート

TEL...0120-970-085

FAX.. 03-6740-2261

〒108-0075 東京都港区南一丁目6-31 基南ビル 2F

代表あいさつ

読者の皆様におかれましては、誠にありがとうございます。私たちは、今、人生と初めて隣り合える、高齢社会を迎え、高齢者自身は、世界に先駆けてこの問題に突入しています。

しかしながら、社会のシステムや人々の暮らし、家族のあり方までもが大きく変わるなか、高齢者自身が動いて、一生を楽しく幸福豊かに過ごすことは困難な状況になっていきます。年齢を重ねても、家族や社会とのつながりを失うことなく、いつまでもその人らしく暮らしていける、そのための新しいライフスタイルを創造するには、どのようなサービスが必要なのか、従来のお茶会を基から、より積極的な自立支援活動へシフトし、高齢者の自立支援に、できるだけ社会とつながりを実現していく、インターネットやスマホなどのサポートを積極していきます。

これから日本が迎えていく、新しい価値観や生活スタイルは、広く世界先進国諸国への参考ともなっています。その第一歩として、『今何のために何が出来る事が有りますか？』それを実践し、新しい未来を見据えます。

インターネット、生活相談会、結婚 送迎

独立編集出版

今後の高齢化（見直し）

国では、「高齢社会」を55歳以上の人口が、全人口の7%を超えると定義。土いいうのは、正式「急速な高齢化」が訪れましたが高齢社会は、寿命が、延びる方ではないのです。子供が、たくさん生まれてくれば高齢社会にならないのです。

しかし、現実には「長寿化」と「少子化」です。寿命が伸びると、平均寿命と平均余命の伸びによってもたえられます。平均寿命とは、日暮の平均余命のことです。では、平均余命とは、その平均死亡年齢が寿命とも変わらないと仮定し、平均年齢とにあと何年生きられるか、ということ。平均寿命では、

昭和22年（1947年）男性が、50.6歳 女性が、53.7歳
平成11年（2000年）男性が、73.3歳 女性が、75.3歳
となり、「人生60年時代」は現実となりました。

1947年から2000年までの53年間で、男性が28年女性の31年の伸びです。

平均余命は、どうでしょうか・・・

昭和22年（1947年）男性が、10.4年 女性が、12.2年
平成15年（2003年）男性が、19.4年 女性が、22.8年
となり、統計上は、現在も基礎的寿命は約30歳まで伸び、約8歳まで伸びて生きること、できるよくなりました。

このように平均寿命や平均余命の伸びは、医学の進歩し、栄養と生活の向上などが、主な要因と見られています。



特別養護老人ホーム（完成予想図）



特別養護老人ホームの需要の高まり

少子高齢化という社会問題が拡大する日本では、特別養護老人ホームの需要が深刻に高まっています。超高齢化が進んだ日本では、一人暮らしをされているご高齢者も多し、こうした特別養護老人ホームで安心した老後を送りたいという入居希望者は確実に増加しているのが現状です。ご家族の中に介護が必要な高齢者がいらした場合は、ご家族で最良な介護をしたが、というお気持ちがあり、管理と安心な生活を送りたいとご家族がある施設で介護サービスを受けながら快適に暮らしてはほしいと特別養護老人ホームへの入居を希望されるおけです。ご家族での介護生活は、介護を必要としているご高齢者が、ご家族での介護生活を送ることが毎日非常に難しくなっています。こうしたご家族の元にはある施設です。こうした施設が求められて提供されたご高齢者のために、安心した老後を送っていただくために、ご家族の負担は必要なのです。

特別養護老人ホームとは

原則として、80歳以上の者であり、身体上または精神上著しい障害があるために通常の介護を必要とする老人（いわゆるたきり火人間）によって、施設において適切な介護を受けることが困難な者を入居させる施設です。

入居者の募集

特別養護老人ホームは、全国的に不足しており、この他、さらに深刻な数の不足も予想されます。このような現状を少しでも良くしていくため、入居者の募集を行い、老人ホームを建設し、施設の改善を進めていく所存です。ぜひご賛同お願い致します。今回は入居者の募集になりますが、もちろん入居者様も入居することによってご家族様のご負担も軽減されます。

急速な高齢化

バブル景況後、生活意識が「物々しい」から「心の豊かさ」へと変わって来ようと言われてます。高齢化と少子化も急激なペースで進んでいます。「人生90年代」を迎えています。この過剰な人口を抑制してより豊かな環境で暮らすことが、人口を減らすのではないでしょう。高齢化における高齢化と少子化を同時に抑えることは、とても大切なことです。また、それは一歩一歩に歩みを進める、早い段階から準備し始めていくことが必要です。ご家族様、

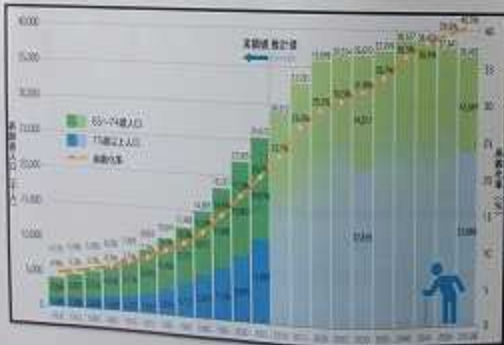
それには、まず「意識」を高めてみませんか？

最近、ニュースや新聞などでよく言われている「高齢化社会」について、みなさんの「高齢化社会」とは、どう認識されていますか？

※ 65歳以上の人口が全人口の7%を超えた社会と定めています。

この高齢化率が14%を超えると「高齢社会」、31%を超えると「超高齢社会」と呼ばれます。過去を振り返ると、昭和20年（1945年）の高齢化率は4.0%、昭和45年（1970年）は7.1%となり、この頃、「高齢化社会」となり平成12年（2000年）で21.4%となりました。現代では、

※ 人口1万人が6千人を超過しています。



経営理念

ライフサポートは、福祉サービスを主眼とするものが、心身ともに健やかに暮らせる社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会を享受されること、その環境、年齢及び心身の状況に応じて、地域において必要な福祉サービスを提供的に提供されるように復旧することを目的としている。

運営方針

老人福祉法に基づき身体上、精神上、又は環境上の理由や、経済的理由により、実態において養護を受けることが困難なものを支援し、先天的、精神的障害のもとに生活者のニーズの把握につなぐ、心のふれあいを入居にし、やすすぎのある生活を提供するとともに、指定福祉にも積極的な支援をとり地域福祉の推進施設として高い質のサービスを提供することとする。

運営方針

老人福祉法に基づき身体上、精神上、又は環境上の理由や、経済的理由により、居宅において看護を受けることが困難なものを支援し、医学的、精神的配慮のもとに入所者のニーズの把握につとめ、心のふれあいを大切にし、やさしさのある生活を提供することにも、在宅福祉にも積極的な支援を送り地域福祉の拠点施設として常に開かれた明るい運営につとめる。